

グラウンドカバープランツについて

グラウンドカバープランツとは？

芝等の低草本で、字の如く「地を覆う植物」。ほふく性の根などで広がり地表面を覆うことで他の雑草を抑制し、草刈り作業など維持管理の省力化が期待されています。欧米などでは昔から広く普及しており、公園、道路、宅地等の景観作物としても使われています。

横手市大森町塚須沢集落におけるワークショップでの実践苗種

<p><ティフブレア> (耐寒性センチピードグラス)</p> <p>科名: イネ科 年生: 宿根草 草丈: 10-25cm 種子入り間伐材ネット、再生紙シートの貼付工法で実施します。 定植後の管理 発芽してから、根付いてほふく茎が畦畔を覆うまでは他の雑草に負けないように、初年度は定期的に手作業で除草・メンテナンス。</p> 	<p><ヒメイワダレ草></p> <p>科名: クマツヅラ科 年生: 多年草 草丈: 5~7cm 定植: 4株 / m2程度 (40~50cm間隔程度) 定植後の管理 根付いてほふく茎が畦畔を覆うまでは他の雑草に負けないように、初年度は定期的に手作業で除草。 メンテナンスがうまくいけば、白い小花が一面に広がりがきれい。また肥料負けするので1年目は肥料はしない。</p> 
<p><アジュガ></p> <p>科名: シソ科 年生: 多年草 草丈: 10~30cm 定植: 9株 / m2程度 (30cm間隔程度) 定植後の管理 病虫害はほとんどなく管理は容易だが、雑草が侵入してくることがあるので、覆うまではこまめに除草。特に踏んづけても傷むことはない。必要に応じ緩効性の化成肥料を与える。</p> 	<p><ペニーロイヤルミント></p> <p>科名: シソ科 年生: 多年草 草丈: 5~20cm 定植: 9株 / m2程度 (30cm間隔程度) 定植後の管理 耐寒性があるが、根が浅いので注意は必要。他のミントとの交雑に注意が必要。根付いて畦畔を覆うまでは他の雑草に負けないように、初年度は定期的に手作業で除草。</p> 
<p>ペットボトル再利用のランタンで田んぼを彩ろう</p> <p>植栽作業後の17:00頃から、集落内の田んぼの畔に手作りランタンを設置して一斉点火します。10分程度でできる手軽なものなので、空きペットボトルや、ろうそく等をぜひお持ちください。</p> <p>なお、詳しい作り方は、農山村振興課のHP (http://www.pref.akita.lg.jp/fpd/) 内にも掲載していますので、作った物をご持参頂いても大歓迎です。</p>   <p>※口径2cm 高さ3.5~4cm</p>	

(いずれも一般的な特徴であり、作付け場所・管理状況等によりかわります)